

令和5年度 日本学生支援機構【大学院修士・博士前期・専門職学位課程】第一種奨学金 「特に優れた業績による返還免除」の申請について(案内)

大学院修士・博士前期・専門職学位課程で「第一種奨学金」の貸与を受け、その貸与期間中に挙げた専攻分野に関する業績について、日本学生支援機構から「特に優れた業績を挙げた」と認定されると、奨学金の全額または半額の返還が免除される制度です。貸与の終了年度に在籍していた課程において挙げた業績により申請をします。

令和5年4月～令和6年3月の期間内に奨学金の貸与が終了(辞退・退学による終了も含む)する者が申請できます。(返還免除制度に申請する場合でも、貸与終了手続きとしてリレーポジの加入が必要です。)

本人からの申請に基づき、三重大学「学内選考委員会」において業績を審査して推薦候補者を選考し、日本学生支援機構に推薦します。申請を希望する人は、本案内および申請用紙に記載の【注意点】をよく読み、受付期間内にチェックシートを含め、必要書類を不備なく揃えて提出してください。

1. 申請受付

(受付期間) 令和6年3月6日（水）～3月22日（金） 期限厳守
9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

(受付場所) 学務部学生支援チーム奨学金担当 ①番窓口 (総合研究棟II 1階)
TEL: 059-231-9061

※提出時に、学生証を持参してください。

◆提出書類：下記の3点（工学研究科は4点）

- ①業績優秀者返還免除申請書（様式1表裏）
- ②業績を証明する資料
- ③チェックシート
- ④<工学研究科のみ>業績評価項目対応表

2. 資料作成要領

どれほど優秀な業績でも、〔専攻分野〕と関連のない業績は評価対象となりません。

①業績優秀者返還免除申請書（様式1表裏）

◇パソコンで作成することができますが、本人氏名は【自署】が必要です。

大学院における研究課題等

◇記入内容が、あなたの〔専攻分野〕を表します。

業績の種類

◇あなたの所属する研究科の業績評価基準と、申請書の《記入例》を見ながら、各評価項目の業績について、必要な項目（※）を記入し、その証明資料の資料番号を通し番号で記入します。

（※例）【研究論文】の場合：①著者名（本人及び共著者名）②論文名③学術雑誌名（該当頁）
④発行日⑤その他「掲載決定（予定）」等

◇「1. 学位論文その他の研究論文」の【学位論文】の欄は、業績評価基準で学位論文を評価対象としていない（評価点数のない）研究科については、記入できません。「学位論文」と「その他の研究論文」とを混同する間違が多いので、注意してください。

◇学術雑誌名は巻・号・該当頁まで記入し、会議名は年度・開催回等を含め正式な名称で記入してください。

②業績を証明する資料

◇「業績の種類」にあげた業績には、すべて「証明資料」が必要です。

◇証明資料は、**業績の種類ごとに最大ページ数の指定**があります。**【申請案内別紙】を必ず確認して最大ページ数内で必要項目の内容が含まれるように**資料を準備してください。

◇証明資料の1ページ目【右上角】に「業績の種類」欄で記入した 資料番号 を付け、業績と

証明資料の関連を明確にしてください。

- ◇「証明資料」は、その業績を『誰が・いつ（年月日）・どこで（何で）』挙げたかを証明できないといけません。業績の種類に記入した各項目（全著者名・論文名・学術雑誌名（会議名）・発行日（発表日）等）を証明できる一連の書類を揃えてください。（※手持ちの論文に日付が掲載されてない場合、メールなど受理日・掲載予定日等が証明できるものを添付してください。）
- ◇著書・論文や賞状等は原本ではなく、「コピー」で提出してください。指導教員や研究科の発行する証明書、および学外の団体等に発行してもらった証明書は「原本」を提出してください。
- ◇論文は、論文全体の写しでなく、申請者名（著者名）・論文タイトル・学術雑誌名及び発行日等が分かる部分の写し等と論文内容の概要（1、2枚程度。アブストラクトがある場合はその部分で可。）を提出してください。また、概要であることがわかるよう、見出しをつかか、概要部分をマーカーで囲ってください。
- ◇論文や研究発表の証明資料は、自分の氏名等の掲載部分にラインマーカー等で下線を引き、わかりやすいようにしてください。
- ◇コピーをするときは、業績ごとに「A4サイズ」で【両面コピー】してください。原稿サイズが大きく、縮小すると判読が困難となるものは、原寸で片面コピーとし、見やすい方法でA4サイズ（左綴じ）に折ってください。
- ◇免除申請書はA4縦で左上を止めて機構へ提出します。資料の向きや、資料番号の位置（=右上）を整え、印象の良い資料を用意してください。
- ◇書類はクリップ（ゼムクリップ、ダブルクリップ）で止めてください。ホッチキスは無効です。（詳しくはチェックシートの図を見てください。）

③チェックシート 自己チェックを行い、レ点を付けてください。

④業績評価項目対応表 工学研究科のみ御提出ください。

3. 申請上の注意点

- (1) 業績評価基準や証明書類等について不明な場合は、所属する研究科の学務事務室へ問い合わせください。（学生支援チーム奨学金担当は書類を受け取った後、各研究科に書類一式を送付します。審査・選考は各研究科にて行います。）
- (2) 学会参加等によりやむを得ず受付期間内に申請ができない場合は、事前に奨学金担当に相談してください。事前に相談がない場合は、いかなる理由があっても受付期間後の受付は一切できません。
- (3) 卒業後に「現住所」が変更となった場合は、『返還のてびき』ダイジェスト版の5ページを参照のうえ、スカラネット・パーソナルから令和6年4月中旬以降～6月末までに機構へ住所変更を届け出でください。郵便局に転送依頼も忘れずに。
- (4) 返還免除の認定結果が判明する7月下旬までに、申請者または連帯保証人等から全額又は一部繰上返還を行わないよう注意してください。 繰上返還をした場合、免除決定が取り消される場合があります。

4. 審査の結果連絡

機構へ推薦できなかった場合

令和6年7月下旬までに学内選考の結果通知を、チェックシートに記入した「卒業後の連絡先」宛に大学から郵送します。

三重大学から機構へ推薦した場合

大学からは、学内選考の結果は通知しません。

令和6年7月下旬頃に、日本学生支援機構より、令和6年6月末時点でスカラネット・パーソナルに登録されている住所へ審査結果通知が郵送されます。また、スカラネット・パーソナルでも認定結果の確認が可能です。

5. 推薦予定人数

修士・博士前期課程 34名
専門職学位課程 1名

（参考）対象者数（M・P課程） 112名

【申請案内別紙】

【資料の必要項目及びページ数】

最大ページ数内で必要項目の内容が含まれるように資料をご準備ください。

業績の種類	必要項目と注意	最大ページ数
1 学位論文その他研究論文	<p>【学位論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者名 ・論文タイトル ・論文内容の概要 <p>【その他の研究論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者名（著者名） ・論文タイトル ・論文内容の概要 ・学術雑誌等名及び発行日 <p>【学会での発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者名（発表者名） ・題目 ・会議名 ・主催者名 ・発表日 ・表彰、受賞等 <p>【論文及び学会での発表により受賞または表彰による機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者名 ・受賞、表彰内容及び日付 ・奨学金や外部資金の獲得情報 <p>【日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者名 ・日付 ・特別研究員採用または競争的資金獲得情報 <p>※特別研究員証明書または民間財団等が公募している競争的資金に係る証明書等</p> <p>※論文内容の概要が複数ページに渡る場合には、1ページ目のみ提出してください。</p>	4
2 大学院設置基準第16条第1項に定める特定の課題についての研究の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者名 ・研究の成果 <p>※研究成果の内容が複数ページに渡る場合には、最大ページ数（3ページ）以内で提出してください。</p>	3

3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	・申請者名 ※試験及び審査の結果が複数ページに渡る場合には、最大ページ数（3ページ）以内で提出してください。	3
4	著書、データベースその他の著作物（第一号、及び第二号に掲げるものを除く。）	・申請者名（著者名） ・著書、データベース等タイトル ・著書、データベースの概要 ※著書、データベースの概要が複数ページに渡る場合には、最大ページ数（3ページ）以内で提出してください。	3
5	発明	・申請者名（発明（考案）者名） ・特許に関する項目 ※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分がわかるもの。出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等の記載があるもの。団体での出願の場合は、申請者名が確認できるもの。	3
6	授業科目の成績	・申請者名 ・各授業の成績の詳細 ・日付	2
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	・申請者名 ・業務内容及び実績 ・日付 ※業務内容及び実績が複数ページに渡る場合には、最大ページ数（3ページ）以内で提出してください。	3
8	音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	・申請者名 ・発表会名 ・日付 ・成績 ※専攻分野に関連した業績であることを確認してください。	3
9	スポーツの競技会における成績	・申請者名 ・競技会名 ・日付 ・成績 ※専攻分野に関連した業績であることを確認してください。	3
10	ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績	・申請者名 ・活動内容及び実績 ・日付 ※申請者が参加されたことの確認が取れない資料（写真や新聞記事など）は不備となりますので申請者本人が参加されたことが分かる資料（参加者名簿など）の提出をお願いします。 ※活動内容及び実績が複数ページに渡る場合には、最大ページ数（3ページ）以内で提出してください。	3
11	その他機構が定める業績	内定に関する証明書は不要です。	/